

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

事業所名：

ユニット名：

記入日：平成19年 6月13日

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	園芸農家や野菜農家が多い地域であるので、ホーム内に花壇や畑を作り、希望される利用者と作業しています。	○	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎週、スタッフミーティングを行い、理念、人権尊重、権利擁護について話し合いを持っています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や行司に出席されるご家族へ説明、また地域のコミュニティセンターの担当者へ、施設の概要や取り組みについて説明しています。		
	2. 地域との支え合い			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	朝夕の挨拶等をこまめに行っています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動、コミュニティセンター行事への積極的参加を図りたいと考えています。	○	

6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高 齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域のNPO法人の活動（宗像市こころ をつなぐ認知症ネットワーク事業）へ参 加しています。	○	
番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解 し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価項目について、話し合う機会を作 り、ホーム一体となって取り組む事と しています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等 について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かして いる	運営推進会議での報告内容の検討や議 事録の作成、入居者ご家族への報告に より、より良いサービス提供が出来る よう努めています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつく り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者との連絡、報告は、民協 役員会への出席やその他地域活動を通 じ、密に行っています。	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用でき るよう支援している	各研修会の運営や参加、社会福祉協 議会担当者との連絡等、積極的に行 っています。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用 者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防 止に努めている	各研修会の運営や参加、社会福祉協 議会担当者との連絡等、積極的に行 っています。		
	4. 理念を実践するための体制			

12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書の内容を、理解し易いように、分かり易く説明し、疑問・質問等に充分応えている。		
----	--	---	--	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会等を通じ、利用者の意見を伺える機会を作り、意見が反映できるよう努めています。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	運営推進会議、家族会及び報告等を通じ、ご利用者の様子や運営状況説明の機会を作るよう努めています。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会等を通じ、利用者の意見を伺える機会を作り、意見が反映できるよう努めています。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者、管理者出席の上、ミーティングを行い、スタッフが考える提案等について検討する機会としています。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、スタッフの異動、離職による、利用者への影響がないよう、より良質なサービス提供ができる配慮、運営をしています。		

	5. 人材の育成と支援			
19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。</p> <p>また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>管理者は雇用管理者講習（基礎・専門）を定期的に受講し、就労環境等の改善に取り組んでいます。</p>		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>毎回のミーティングを通じ、人権教育、啓発活動に取り組んでいます。</p>		
21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>育成プログラムは作成していませんが、各種研修情報の参加勧奨に努め、希望がある場合にはシフトの調整等を図っています。</p>		
22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各研修会の運営や参加、社会福祉協議会担当者との連絡等、積極的に行っています。</p>	○	
23	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>特段の取り組みはありませんが、ミーティングを通じ、心身両面の体調管理に留意するよう喚起しています。また個別面談により現状に対する意見を聞いています。</p>		

24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	現在、不定期になっていますが運営者、スタッフ間で面接を行っています。		
	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご入居に際し、事前の訪問面接等を通して、ニーズの把握に努めています。		
26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご入居に際し、事前の訪問面接等を通して、ニーズの把握に努めています。		

5

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご入居に際し、事前の訪問面接等を通して、ニーズの把握に努めています。		
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人が施設・環境に慣れられるまでスタッフが寄り添いながら、ご本人の能力に応じた援助を行います。		
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事を同じテーブルで取りながら、ご利用者の興味がある話題や、趣味、得意な事柄について会話しています。また、ご本人が出来る後片付けや拭き掃除を一緒に行います。	○	

30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	誕生会ほか行事へご参加頂き、ご本人へお祝いの言葉を頂いたり、ゲームへ参加頂いてます。また、運営推進会議、家族会へ積極的にご出席頂いてます。		
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人と外出、外泊をお勧めしています。必要があれば、介護技術についても実習して頂いてます。今後、外出行事にご参加頂き、より良い関係作りのお手伝いが出来ればと思っています。	○	
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご親戚やご友人との手紙のやりとりや自宅への一時帰宅、墓参り等が出来ればと思います。	○	
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事やレクレーションの際の配席に注意しています。		
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約書、重要事項説明書に謳っている通り、必要な支援を行い、いつでもご相談頂けます。		

6

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式に基づく、アセスメント用紙を用い、ご本人の思いや意向の把握に努めています。		

36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式に基づく、アセスメント用紙を用い、ご本人のこれまでの暮らしや生活環境の把握に努めています。		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	センター方式に基づく、アセスメント用紙を用い、ご本人に出来ることの把握に努めています。		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者がご本人の意向を汲み取り、看護職員、介護職員がご本人の状態の把握、意見交換を行い、かかりつけ医の意見を取り入れプランを作成している。		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各関係スタッフは、常にご本人の状態の把握に努め、種々の変化を報告し、変化が見られる場合には、都度、プランの変更について話し合いの機会を持っています。		
40	○個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	現在、個別記録の記載内容について、見直し、検討を行っています。	○	

7

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			

41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人ご家族のニーズを的確に捉え、適切な対応が出来るよう努力しています。(地域のかかりつけ医の継続受診、入院時の付き添い等の対応)		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向必要性に基づき、民生委員の訪問や地域のコミュニティセンターへの訪問を行いたいと思います。	○	
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている			
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域の担当ケアマネージャー、社会福祉士、保健師と密な連絡、情報交換が出来ればと思います。	○	
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の訪問診療を行って頂き、緊急時の受入れもスムーズになっています。週3回の透析送迎にも対応しています。		
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門のかかりつけ医にご協力頂いています。		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ医の看護師との情報交換は良好。訪問看護ステーションとも緊急時対応のための契約をしています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	-------------------------	----------------------------------

48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	地域のMSW交流会や病院事務長会へ出席させて頂いており、地域医療の情報収集に努めています。		
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人ご家族の意向確認の上、主治医と方針を確認し、関係スタッフの関わりについて話し合いを持ち、安心安楽なケアの提供に努めています。	○	
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々のサービス提供を通じ、重度若しくは終末期のご利用者の、心身の状況に応じた対応について、かかりつけ医、とともに緊急時の対応や連絡方法を取り決めていきます。	○	
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人が生活していた環境からの変化による精神的負担の軽減に努める為、ご入居前の生活状況の把握や情報収集に努めます。		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「こころの抑制」をしないようミーティング等を通じ、常にスタッフの意識を喚起するよう努めています。	○	
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に、ご本人の能力に合わせた傾聴を心がけ、自己決定を支援するようスタッフに注意を促しています。		
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者一人ひとりのペースを大切にし、ゆったりと生活できるよう配慮しています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人の希望に添うよう、出来る限りご自分で準備されるよう支援します。ご家族と相談、意向を確認します。		
56	○食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の残存能力に応じて、食卓の準備や片付け、テーブル拭き等を協力して頂いています。		
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	受動喫煙に配慮しつつ、喫煙しやすい環境作りを行っています。		
58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要に応じて排泄チェック票を作成し、排泄のリズムをつかみ、スムーズな排泄誘導が行えるよう努力しています。		
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人の能力に合わせた入浴を楽しんで頂けるようスタッフと1対1で入浴して頂いています。拒否が見られる場合にはタイミングを計ります。		
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人おひとりの生活習慣を把握し、ご家族の意向や主治医の意見を確認の上、生活ペースに応じた対応をします。		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			

61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人が「したい事」「好きな事」を、ご本人の能力に合わせた方法で出来るよう検討し、支援します。	○	
----	---	---	---	--

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の能力にあわせ、買い物に出かけ、一緒にものを選びレジで支払いを支援して行きたいと思います。	○	
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い日に散歩や、日光浴を行っています。今後、地域コミュニティセンターへ出かける機会を増やす予定です。	○	
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お花見や外食行事を企画しています。ご家族との外出の機会を持って頂くよう、呼びかけをしています。		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればご家族へ電話をして頂いたり、取次ぎをしています。また、手紙のやり取りもして頂いています。		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	玄関の雰囲気配慮し、植栽や花を飾り、壁には明るい絵を掛ける等、暖かい空間作りをしています。		
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組	ミーティングを通じ、「個人の尊厳」「人権尊重」と合わせ、出席者全員が理解できるよう取り組んでいます。		

	んでいる			
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	明るく開放感が持てるよう工夫しています。玄関は自動ドアを侵入者に対応するためテンキー式としています。		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しつつ、定期的に訪室する等、所在の把握に努めています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご本人の能力を勘案し、ご家族と相談の上、危険と判断される物品の振り分けをしています。		
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルを作成し、申し送り簿の活用等、各職員への周知を徹底できるようにしています。		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	かかりつけ医、看護師による指導を実施しています。		
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者を中心に、消防署に指導頂きながら避難訓練を実施しています。今後、地域の協力を得たいと思います。	○	
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご本人の心身状況について、面会時やお電話で説明し、必要があれば、主治医と面談する機会を設定します。		

	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行い、心身状況の変化に、スタッフが意識を持つよう指導しています。		
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医からの薬剤情報提供書や指導書を、スタッフがいつでも確認出来るようにしています。		
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	スタッフに重要性を理解してもらうよう常に話題として取り上げ、水分補給や運動を積極的に行っています。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	訪問歯科、かかりつけ医、看護師の指導に基づき、食後、就寝前の口腔衛生に心掛けています。		
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食後、食事摂取量のチェックを行い、水分摂取量については1日の摂取量に気を配り、声かけをしています。		
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し周知しています。また、ミーティングを通じ対応方法等の指導をしています。		
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	系列施設の委託業者に依頼し、衛生管理等についてチェックしてもらっています。		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			

82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲に植栽や花を飾り、玄関を自動ドアに替え、明るい雰囲気作りをしています。		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には明るい絵を掛け、階段踊り場にご利用者の写真を飾る等、暖かい空間作りをしています。		
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にソファを設置し、テーブルの配置も柱等を活用し目隠しに工夫しています。		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご利用者の部屋として、ご家族と相談しながら、安全に配慮した物品を持って来て頂いています。		
番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ホールに温度・湿度計を設置し、空調機、空気清浄機や加湿器、除湿機を活用しています。また、窓を開け換気に配慮しています。		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホール、階段には手すりを設置し、玄関、トイレの床は滑り止め加工をしています。また、居室は転倒事故の際の緩衝対策としてフローリングとなっています。		

88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	センター方式に基づくアセスメントにより、ご本人が持っている力の把握に努め、自立支援に努めています。		
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	裏庭に花のほか、胡瓜等、野菜を植えており水遣りや収穫をして頂いてます。また、テーブル、椅子を設置し、天候の良い日にお茶や喫煙を楽しんで頂いてます。		

15

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
V サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない

91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者が ●利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない

16

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない

97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	●ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ●たまに ④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ●少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
100	○職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ●職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ●利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ●家族の2/3くらいが ③家族の1/3くらいが ④ほとんどできていない